



TOPICS

ファーマー通信 vol.40

「農業とともに歩む庭園づくり」 佐々木 博さん ②
おコメづくり体験プロジェクト ③

No. 281
2026.7.25

ペーパン農事組合 ^{さ さ き ひろし} 佐々木 博さん

今回はペーパン農事組合の佐々木 博さんをご紹介します。佐々木さんは高校を卒業後、木工所に勤めながら親の農業を手伝い、40歳のときに専業農家となりました。現在は水稻と三つ葉、インゲン豆の作付をしながら、米原の旧自宅周辺で庭園の整備に取り組んでおられます。

今回は佐々木さんにいろいろお話を伺いました。

Q 農業の好きなところはなんですか？

A 自分のペースで仕事ができるのでストレスがないことです。ほとんど一人で仕事をしているのでやることはたくさんありますが、自分でスケジュールを決めて仕事をするのが合っているんだと思います。

Q 辛かったことはなんですか？

A 年々お米を持つのが辛いです。体力を維持するために毎日2万歩近く歩いていますが、それでも年々30kgのお米を持つのが辛く感じるようになりました。

Q 庭園について教えてください

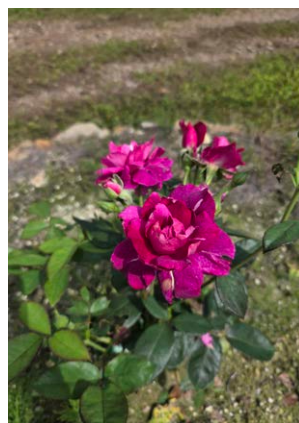
A 庭園は10年以上前から作り始めました。きっかけは趣味の旅行で日本各地の庭園を見た時に、自分の手で庭園を造ってみたいと思い始めました。独学で庭園を造り進め、石垣で園路を築き、池を設けるなど一つひとつ手を加えながら庭園造りに励んでいます。

現在はバラや紫陽花、桜等様々な花を植え、四季を楽しめる庭園になってきました。

Q 今後の目標を教えてください

A 農業に関しては、体力が続く限り水稻と野菜の複合経営を続けていきたいと思いますが、体力的に難しくなったら野菜の出荷に専念しようと思っています。特に春先の三つ葉は店やお客さんからも好評をいただいているので、面積を増やして長く出荷できるようにしていきたいです。

庭園造りについては、完成まであと20年くらいかかると思うので健康で庭造りを続けることが何よりの目標です。将来的には、多くの人を訪れる観光名所になれるよう、少しずつ庭園の整備を続けていきたいです。





おコメづくり体験プロジェクト

5月23日、株式会社道北アークス・ホクレン・J A東旭川合同による「おコメづくり体験プロジェクト」が開催されました。このイベントは、消費者に農業への理解を深めていただくとともに、お米ができるまでの過程を体験していただくことを目的として実施致しました。

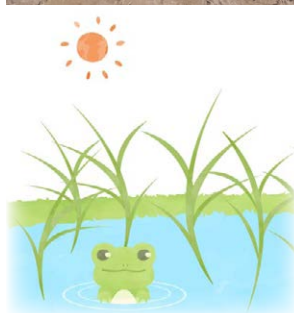
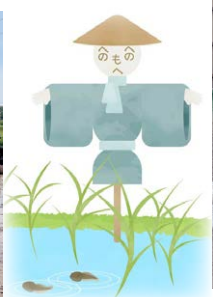
当日は天候に恵まれ、抽選で選ばれた40名が参加し、株式会社アグリファーストのほ場にて田植えを体験していただきました。はじめに、田植えのやり方や注意点などの説明を受けた後、ほ場へ移動し最新の田植機による田植えを見学しました。参加者は自動操舵機能に驚きながら熱心に田植えの様子を見学していました。

見学後、実際に田んぼに入り、手作業による田植えを体験しました。初めて入る田んぼに苦戦し、転んでしまう方もいましたが少しずつ慣れ、苗を1束ずつ丁寧に植付けしていました。

田植え終了後にはジンギスカンとおにぎりが振舞われ、昼食後には豪華景品が当たるクイズが実施されました。ホクレンよりお米の品種や稲作に関するクイズが出題され、楽しみながらお米作りに関する知識を深められ、会場は大いに盛り上がりしました。

今回の体験を通じ、参加者の皆様に農業の大切さやお米ができるまでの苦労について理解を深めていただく良い機会となりました。

次回は9月下旬に参加者が植えたお米の稲刈り体験を開催する予定となっております。



水稻青空教室



6月25日、業務用米「そらきらり」のほ場にて、会員20名参加のもと、稲作協議会 水稻青空教室が開催されました。

普及センターの大原普及員と上川農業試験場の熊谷主査より生育における管理作業や注意点、生育調査の現状報告のご説明をいただきました。

参加した会員からは「そらきらり」の生育管理についてなどの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われる等、有意義な青空教室となりました。

そ菜・花き親睦会

6月25日、野菜集出荷センターにて会員・市場・関係機関等を含め総勢98名参加のもと旭川青果物生産出荷協議会東旭川支部 そ菜・花き親睦会が開催されました。

開会にあたり守屋会長と畑山組合長よりご挨拶をいただいた後、普及センターの草野係長より病害虫等について、市場を代表して株式会社キョクイチの善志課長代理より販売に関するお話をいただきました。

その後は焼肉を囲み、出席者全員で交流を深め、盛会のうちに終了致しました。



畑作協議会 道内研修

6月30日～7月1日の2日間、会員8名参加のもとオホーツク方面にて道内研修が開催されました。

初めに、株式会社オホーツク網走26にて小麦や加工用馬鈴薯等のほ場を視察しました。オホーツク管内における畑作物の栽培技術等の説明を受けた後、活発な意見交換を行いました。

次に、J Aオホーツク網走の麦類乾燥調製貯蔵施設を訪問し、職員の方から施設の概要を説明いただきました。

道内研修を通じ、生産者同士の交流も深めるとともに、今後の営農につながる有意義な研修となりました。





青年部 夏期研修

7月2日～3日の2日間、部員10名参加のもと、石狩・空知方面にて青年部 夏期研修が開催されました。

1日目は、株式会社ファームかとうの乾田直播栽培のほ場を視察し、管理作業のポイントや栽培上の注意点の説明を受けました。その後、ホクレンの農業総合研究所を訪問し、環境制御型ハウスの養液なす栽培やスマート農業などの最新のテクノロジーに触れました。

2日目は、農業生産法人株式会社輝楽里を訪問し、約200haを耕作する大型農業法人の人材活用方法等の説明を受け、活発な意見交換を行いました。その後、ホクレン包材株式会社の工場を訪問し、私たちが普段使用している紙袋やリサイクルフレコンが作られる様子を見学しました。

この二日間で部員同士の交流も深まり、大変実りある研修となりました。



小麦収穫・出荷打合せ

7月6日、生産者17名参加のもと、畑作協議会 小麦収穫・出荷打合せが開催されました。

初めに、秋まき小麦のほ場巡回を行い、普及センターの吉川主査より小麦の生育状況や刈取適期等について説明をいただきました。

ほ場巡回終了後、会議室において吉川主査より小麦の適期収穫に向けたご指導をいただいたあと、収穫から検査・集荷体制についての打合せを行いました。

打合せ終了後には懇親会が開催され、小麦収穫に向けて士気を高めるとともに生産者同士の親睦を深めることができました。



農業用ビニール・ポリ リサイクル回収



7月9日、農業用ビニール・ポリのリサイクル回収が行われ、70件20.8tが回収されました。

今回も各部会・協議会の皆様にご協力をいただき、大変スムーズに回収を行うことができましたことにお礼申し上げます。

次回の回収は11月を予定しております。組合員の皆様には、今後も分別回収へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

稲作協議会 道外研修

7月7日～10日の4日間、生産者8名参加のもと広島・岡山・大阪方面で稲作協議会 道外研修が開催されました。

広島では、株式会社フジ 渡部バイヤーと大和産業株式会社 梅田課長にご協力をいただき、令和4年産米より産地指定米として販売いただいている直播えみまるの販売店舗を視察しました。その後、株式会社フジ本社にて、今後の販売戦略や店舗拡大、新商品の開発などについての意見交換が行われました。

岡山では、株式会社ヤンマーアグリの工場を視察し、トラクター・田植機・コンバインなどの製造ラインを間近で見た後、現在の機械情勢や最新の機械の情報について説明をいただきました。

大阪では、株式会社ニチレイフーズの焼おにぎりを製造している関西工場を視察しました。機械化された製造ラインを見学した後、焼おにぎりの食べ比べをさせていただきました。又、令和7年産そらきらりの評価や今後の課題など率直なご意見をいただき、とても活発な意見交換会となりました。

4日間の研修で生産者同士の交流も深めることができ、とても有意義な道外研修となりました。



年金友の会 第39回 パークゴルフ大会

6月22日、東川町親水河川公園パークゴルフ場にて、年金友の会第39回パークゴルフ大会が開催され15名が参加されました。

当日は雨の予報でしたが、幸いにも天候に恵まれ予定通り大会を開催することができました。大会は1打差を争う白熱した展開となり、大いに盛り上がりました。

大会の成績は右記の通りです。入賞者の皆さま、大変おめでとうございます。

男性の部

順位	氏 名	スコア
優勝	千 代 久 直	101
準優勝	三 浦 宏 隆	106
3位	三 上 丈 博	116



女性の部

順位	氏 名	スコア
優勝	三 上 キ ク	125
準優勝	保 田 エミ子	131
3位	三 浦 サチ子	134



理事会の経過

第5回理事会議案

開催日 令和8年6月19日

決議事項

1. 貸付金の査定について
2. 4 J A 合併に関わる座談会の開催について
3. 旧豊田支所の土地・建物について
4. 出資金の減口・譲渡について
5. マネロン等の防止にかかる対応状況について
6. 令和8年産出荷米並びにふるさと屯田米の出荷契約金の支払い及び J A 資金での運用について

協議報告事項

1. 監事の監査報告について
2. 組合員の加入・脱退の状況について
3. 貸付金の実行報告について
4. 固定資産の取得について
5. 自己資本比率算出事務手続の一部変更について
6. 内部監査実施報告について
7. 行政庁へのマネロン等対策の実施状況に関する調査報告について
8. 財務モニタリングの報告について
9. 体制整備モニタリングの報告について
10. 令和8年度水稻作付面積並びに生産調整実施面積の現地確認について
11. 令和8肥料年度肥料価格の動向について
12. 各課の事業推進報告について

行事経過と予定

7 月

- 3日 合併座談会
- 6日 生産調整面積現地確認
- 9日 農業用ビニール・ポリ回収
- 23日 理事会

27～29日 組合員宅巡回訪問

28～31日 みのり監査法人期中監査

31日 中間決算棚卸

8 月

25～27日 組合員宅巡回訪問

生産資材課より

不要農薬の処分について

不要な農薬は産業廃棄物になり、法令に従った処分が必要になります。

処分料は農薬の成分や処分する重量によって変わり、ラベルがはがれていたり、汚れて読めない場合は成分分析が必要になりますので、お見積りをさせていただいた後、回収致します。使用期限が切れた農薬や、使用基準の登録が抹消された農薬、使用しない農薬がございましたら、生産資材課までご連絡ください。

処分までの流れ

不要農薬の
品名・数量を確認

(例) トレボン粉剤 3kg × 8袋

処分料の見積り

(例) 24kg × 1,100円 = 26,400円

回収
・
精算

お問い合わせ先：生産資材課 ☎ 36-6031

HELLO!! HOW ARE YOU DOING?

こんにちは



みやざき ゆうま
宮崎 悠雅
(営農販売課)

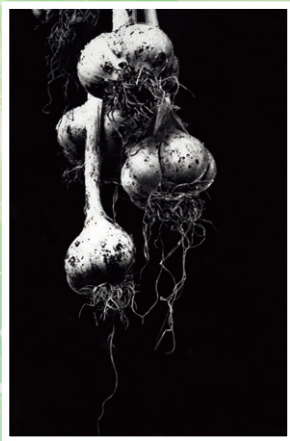
令和7年3月 J Aカレッジ 卒業
令和7年4月 営農販売課 勤務

- ・趣味：音楽鑑賞
- ・特技：テニス
- ・好きな食べ物：ラーメン（麵屋 柊の味噌ラーメンが一番好きです）
- ・最近ハマっている事：ライブを見に行くこと

- ・仕事をしていて嬉しかった事
前までできなかった仕事ができるようになったとき
- ・本人よりひとこと
まだまだ不慣れな事も多いですが、組合員の皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

みんなの広場

「何気ない日常風景」



(匿名希望様より)

みんなの広場 取材先募集中!!

J Aだより「~~お~~ーひかりー」ではみんなの広場に掲載する取材先を募集中です。

東旭川地域のちょっとした「アレコレ」気がついたことがあればお気軽にご連絡ください。J Aだより編集委員が取材にまいります。もちろん自分で撮られた写真なども同時に受付しております。

情報提供いただいた方には加工品等をプレゼント!

郵 送：旭川市東旭川南1条5丁目8-22

東旭川農業協同組合

J Aだより編集委員 宛

電 話：36-2111 (企画課)

メール：kikaku@ja-higashiasahikawa.net

連絡先

お問い合わせ先



編集後記

いつもJ Aだより「~~お~~ーひかりー」をご愛読いただき、ありがとうございます。

組合員の皆様におかれましては、本格的な夏を迎え、ほ場での作業など大変お忙しくお過ごしのことと思いますが、農作業事故や熱中症には十分お気を付けください。

私事ではございますが元サッカー部ということもあり、4年に1回この時期はワールドカップについてよく聞かれますが、実は睡眠を優先しリアルタイムではほとんど見ていません。それでも試合結果を皆さんから教えていただき、皆さんとの会話でワールドカップを楽しんでいました。

最後になりますが、これから更に厳しい暑さが続くことと思います。体調を崩さないようご自愛ください。

(浅野)